

DRONE FUNDが、産業用ドローンのメンテナンスサービスを展開する 米Robotic Skiesへ出資を実行

DRONE FUND(本社:東京都渋谷区、代表:千葉 功太郎、大前 創希)は、Robotic Skies, Inc(本社:米ニューメキシコ州アルバカーキ、創業者/CEO:Brad HAYDEN、以下:ロボティック・スカイズ)へ、3号ファンド(正式名称:DRONE FUND3号投資事業有限責任組合)からの出資を実行しました。



【今回の投資について】

ロボティック・スカイズは、アメリカを中心に世界49か国において、FAA(米連邦航空局)認証対応型のドローンメンテナンスのマーケットプレイスを提供するアメリカ発スタートアップです。

アメリカではエアラインに限らず、日ごろの通勤や移動、レジャーなどにおいても、ジェネラル・アビエーションと呼ばれる、小型の有人航空機がごく一般的に活用されています。FAAは、安全管理のためにPart145(※1)をはじめとする法・制度を整備しており、したがって全米の各地には有人航空機のリペアステーションが存在しています。

ロボティック・スカイズは、これらのマクロ環境を背景に、既存の有人機リペアステーションをベースとした、産業用ドローンのメンテナンスサービスおよびそのネットワークを展開しています。

具体的には、契約したリペアステーションに対して、ドローンメンテナンスに関する技術者トレーニング、部品提供などの細やかなサポートに加え、メンテナンスマニュアルデータの提供や整備レポートの作成などのメンテナンスプロセス全体を管理可能な標準化プラットフォームを提供しています。

また創業者/CEOのBrad Hayden氏は、全米ビジネス航空協会(NBAA)の新興技術員会の委員長などを務め、アメリカにおける航空産業に精通しているだけでなく、米ドローン政策および法規制のルールメイキングの現場でも活躍しています。2021年1月には、FAA(米連邦航空局)においてドローンの社会実装に関する戦略策定を支援する諮問委員会(DAC/Drone Advisory Committee)のメンバーに任命されました。



DRONE FUNDは、ロボティック・スカイズが、(1)アメリカにおけるドローン政策および法整備の方向性などを見通したビジネスモデルを構築していること、(2)リペアステーションへのネットワーク展開を開始していること、そして(3)Brad Hayden氏のキャリアを背景に、市場や制度の変化への対応が可能なポジショニングを確立しつつあることを評価し、今回の投資を決定いたしました。

DRONE FUNDは、「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現に向けて、産業用ドローン市場のすそ野の拡大、および産業領域の深化に貢献することのできる幅広いサービス、ソリューションへの投資を加速してまいります。

※1 Part 145: 航空機や航空機製品の整備、検査、修理などに従事することのできるリペアステーションを定義し、該当する施設には、FAAが証明書を付与することなどを定めた連邦法「タイトル14」の一部。

■ロボティック・スカイズ 概要

- ・ 商号: Robotic Skies, Inc
- ・ 創業者: CEO: Brad HAYDEN
- ・ 所在地: 米ニューメキシコ州アルバカーキ
- ・ 設立: 2014年
- ・ 事業内容: 有人機水準での産業用ドローン向けメンテナンスサービスの提供
- ・ ウェブサイト: <https://roboticskies.com/>

■DRONE FUND 概要

DRONE FUNDは、「ドローン・エアモビリティ前提社会」を目指し、ドローン・エアモビリティ関連のスタートアップに特化したベンチャーキャピタルです。1号および2号ファンドを通じて、国内外の合計40社以上のポートフォリオを形成しています。3号ファンドでは、ドローン・エアモビリティおよびその社会実装に資するテクノロジーへの投資活動を幅広く展開してまいります。

- ・ 正式名称: DRONE FUND 3号投資事業有限責任組合
- ・ 運営会社: DRONE FUND株式会社

- ・ 代表パートナー：千葉 功太郎、大前 創希
- ・ 所在地：東京都渋谷区恵比寿三丁目3番6号
- ・ 設立：2020年5月
- ・ 事業内容：ドローン・エアモビリティ関連への投資及び協業支援
- ・ ウェブサイト：<http://dronefund.vc>

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

- ・ DRONE FUND 広報担当：pr@dronefund.vc